

資料 1 - 1

平成 29 年 10 月 18 日

練馬区企画部

暮らしのグランドデザインについて

1 目的

概ね 10 年後の「暮らし」の目指す姿を示し、区民と共有するもの。

2 構成

8 つのテーマごとに「将来像」・「区の基本姿勢」・「施策の方向性」を示す。

- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1 子育て | 2 高齢者福祉 | 3 障害者福祉 | 4 生活福祉 |
| 5 健康づくり | 6 文化芸術 | 7 みどり | 8 都市農業 |

① 将来像

概ね 10 年後の暮らしを、8 人の区民の物語として描く。

② 区の基本姿勢

テーマに対する区の基本姿勢を示す。

③ 施策の方向性

概ね 10 年後に向けた区の実施を示す。

3 ポイント

- ・ いわゆる行政計画ではないため、分野や施策・事業の網羅はしない。
- ・ 区民と共有するため、将来像は読みやすさを工夫する。
 - ※ 500～600 字程度のショートストーリーとする。
 - ※ 区民の努力や苦労にも触れながら将来像を描く。

4 今後のスケジュール（予定）

- ・ 11 月 20 日 : 区政改革推進会議（第 4 回）
- ・ 12 月 : 素案の公表
- ・ 12 月～ : 区民意見の募集

様式見本

写真掲載
予定

保育園を探すことを「保活」と呼んだ時期もあったが、今はそんな言葉も聞かない。下の娘を預けるときも、大きな苦労はなかった。ただ、子育てと仕事の両立はやはり悩みの種だ。来週は月末で忙しい。今月も娘の迎えは夫と調整しよう。

「保活」なんてむかしのこと

数か月前、經理の経験を活かして再就職した。子どもの将来を考えると、お金が必要になる。久しぶりの仕事で戸惑うことも多い。毎日頑張っている。仕事を終え、保育園に下の娘を迎えに行く。園庭で遠くかけっこをしていて、私と目が合い、一目散で駆け寄ってくる。『ママ！』『ママ！』
『今日ね、ママを描いたんだ！』
小さな手を取り、覚えたての童謡と一緒に歌いながら帰る。クレヨンで描かれた私は笑顔だった。また一つ、宝物が増えた。

将来像

娘が楽しそう、それってしあわせ

結婚当時は、食品会社に勤めていた。上の娘がお腹にいると分かったとき、仕事との両立で悩んだが、しばらく子育てに専念するため、会社は辞めることにした。

出産直後、夫は残業が多く、子どもと2人きりで心身ともにつらかった。そんなとき、区の産後ケアサービスを使って、助産院でゆっくり休むことができた。それに、近所に子育てのひろばがあったおかげで、育児の悩みを打ち明けることもできた。

そんな娘も今では小学生。放課後も学校で友達と楽しく過ごしている。娘が楽しそう、それってしあわせ

ひとりじゃない、だから頑張れた

私は7歳と3歳の娘を育てる母親だ。夫や娘たちと忙しい日々を送っている。ひとりじゃない、だから頑張れた

GRAND DESIGN episode 1

安心して子育てできる、子どもがいきいきと暮らせる

子育てのかたちを選択できる社会の実現

ねりまの未来に向けて

- 妊娠期から子育て期まで、切れ目ないサポートを行います。
- 家庭で子育てをする保護者への支援を充実させます。
- 保育園③ 施策の方向性
- 子どもたちが健やかに成長できるよう、教育を充実させます。
- すべての小学生を対象に放課後の居場所をつくります。
- 児童相談体制を更に強化します。

写真掲載
予定

② 区の基本姿勢

3世代同居が珍しかった昔、祖父母や地域の協力を得ながら、子育てを行うことは当然である。しかし、高度成長に伴う価値観のあり方、社会進出が進むなか、核家族化や女性の社会進出が進むなか、子育ては社会全体で取り組む事業である。意識が広まっています。子育てには誰が担うべきか、様々な考え方や価値観が存在しますが、最も尊重されるべきことは、それぞれの家庭の思いです。

③ 施策の方向性

家庭で子育てがしやすい。子どもを預けて働きたい。様々なニーズを持つ保護者に応じた社会的サービスを提供することで、子育てのかたちを選択できる社会の実現を目指します。